

三陸北部森林管理署	
タイトル	民国連携による森林作業道現地検討会及び労働災害防止対策
実施年月日	平成25年8月28日(水)
実施場所	午前：岩手県宮古市川井南田代山国有林344林班 午後：岩手県宮古市川井生涯学習センター2階ホール
参加者	局署：東北森林管理局、青森事務所、三陸北部森林管理署、久慈支署 23名 外部：岩手労働基準監督署、岩手県沿岸広域振興局宮古農林振興センター林務室、岩泉林務出張所、宮古市、田野畑村、山田町、宮古地方森林組合、署管内林業事業体等 64名 計87名
<p>【取組の概要】 森林・林業再生プランは、路網整備、施業の集約化、人材育成を3本柱として取り組んでいる中で、平成23年に策定された森林作業作設指針に基づく森林作業道の作設方法について、普及・定着を図ること。また、請負事業者等の労働災害防止の取組を一層推進する。 午前は丸太組工法の実演を交えながら、作設方法や路体の排水の考え方など森林作業道の作設方法について意見交換を行なった。 午後は岩手労働基準監督署から、岩手県内の労働災害発生状況やリスクアセスメントに生かすKY活動についての講話などを実施した。</p>	
<p>【取組の成果】 森林作業道現地検討会では、昨年度の取組の中において実際に森林作業道の作設方法を見たいとの要望が多かったことから、今年度は丸太組工法などの実演を交えながら、構造物は地形等などから必要不可欠な場合に設置することなど意見交換を行い、各事業者の知識や技術の向上に資することができた。 労働災害については、災害事例の分析や危険予知活動記録の活用など、今後、各事業者等において活用しながら、安全意識の高揚を図ることができた。</p>	
<p>【出された意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実際に作設方法を始めから見学できて良かった。 ・丸太を固定する際に今回はカスガイを使用していたが、冊子にある釘の使用はどうか、また、入手しやすい番線の使用もいいのではないか。 ・伐開幅を広くならないために、のり面の立木はできるだけ残しながら谷側を低くした排水方法など現地に適した安全な森林作業道を検討したい。 	
<p>【今後の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低コスト作業システムの普及・定着のより一層の推進、安全で効率性の高い作業システムを構築するために、今後も県等と連携しながら、継続して現地検討会等を開催し取り組む必要がある。 	



現地検討会の開会式



現地検討会の意見交換



丸太組工法の実演



岩手県知事メッセージ披露
(第42回森林組合デー)



丸太組工法の実演



労働災害の未然防止